



TCA ニュース

= 2000年 1月発行 = 【No. 137】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-11 ・FAX 03-3541-6540

サイクリストの五楽 輪楽・自転車を楽しみ 行楽・旅を楽しみ 道楽・道を楽しみ 友楽・友と楽しみ 遊楽・遊びを楽しむ

年頭のご挨拶

- 西暦 2000年の新春を迎えて -

東京サイクリング協会
会長 小杉 隆

東京サイクリング協会の会員の皆様、
明けましておめでとうございます。

歴史あるわがサイクリング協会も、新世紀をめざして益々発展・活動すべき新春を迎えました。欧米諸国では、地球温暖化防止の思想が実践の段階に入り、今や日常の交通手段として自転車に乗る人が益々増加しています。昨年は、われわれ国会議員も自転車利用促進議員連盟を発足させ、文部省から国会議事堂まで自転車利用促進のデモンストレーションを実施し、多くのマスコミの注目を浴びました。

今年は、全国のサイクリング仲間が集う、JCA主催の全国サイクリング大会が東京で開催されます。この記念すべきミレニアムの機会を活用して、自転車の社会的地位の向上に大いに努めようではありませんか。

協会会員の皆様の益々のご活躍とご健勝を祈念して、新年のご挨拶といたします

平成十二年正月一日



事務局からのお知らせ

JCA 2級インストラクター講習会

サイクリングディレクター2級への移行のためのJCA 2級インストラクター講習会を3月下旬に実施する予定です。内容は、実技と講義を行ないます。

詳しい実施要項は2月号でお知らせいたしますが、概要を知りたい方は、東京サイクリング協会事務局にお問合せ下さい。

【12月末現在 会員数 265名】

富嶽千景

佐野峠と剣抜大洞林道～富士溪谷 オフロードラン

平成11年11月6日～7日

REPORT

11月6日(土)中央線8:51東京駅発、11:12甲府駅着。ひんやりとした空気で都会を離れたことを感じた。ここで、身延線に乗り換えるのだが、20分程の待ち時間があつたので、ホーム内の立ち食いそばを食べた。それが、結構うまい。空気のせい、そばの生産地のせい、せわしい毎日から逃れたせい。天玉そば390円。身延線に1時間半ほどゆられ、13:07内船駅(うつぶなえき)に着いた。駅を出た所で、タクシーの運転手さんたちと話しをしながら自転車を組み立てた。『あんな所まで行くのか。自転車じゃ行けねえぞ。』それが楽しみで来たんだ、行かいでか。

13:42内船駅を出発。走り出してすぐに急な坂道が始まった。ギアを1番軽くしてペダルを踏む。厳しい坂をゆっくりゆっくり進む。だれも歩こうとしない。ただ寡黙にペダルを踏む。自転車に搭載しているエンジンの性能の良さに感心する。すごい馬力だ。しかも、燃費は0円、環境対策も100%のエンジンだ。汗が顔を滝のように流れる。しかし、顔を拭くことも出来ない。足はもちろん、手だって離せる状態ではない。蛇のように曲がりくねった道を登っていく。曲がり角は外側に行く。なるべく緩やかな坂を通りたいからだ。外側を通っても厳しい坂に変わりはない。踏ん張って、踏ん張って進む。足の指が痛い、太股が辛い、腰がだるい、でも止まらない。ゆっくり進む。焦らず、我慢強く。標高差800mを水平距離3kmで登る。平均斜度15度。タクシーの運転手さんが自転車で行く所ではないというはずである。3回の休憩を含め、1時間37分で佐野峠に着いた。最後の登り坂とも知らずにペダルをこぐと、急に目の前に富士が現れた。峠に着いた人から順に、汗を拭くのも忘れ、登り坂の大変さも忘れ、しばらく富士に酔った。

太宰治の富嶽百景によれば、富士の東西および南北の断面図を作ってみると、東西縦断図の頂角は124度、南北は117度である。我々は西から富士を見たので頂角117度の富士を見たことになる。しかし、だらだらとだらしなく延びた富士の両側の稜線が、手前の山で隠れていたのも、富士の頂角は鋭角に見えた。男らしく天に突きだしていた。頂上付近に白く冠雪が見られた。

15:50富士にそろそろ夕焼けが始まるけはいがあり、しばらく観察したい気もしたが、明るいうちに下ることにした。25分程で下りてしまった。無我夢中でハンドルを操作しているうちに着いてしまった。下りもまた、自転車の醍醐味である。

宿では、初めて会う人も居られたが、そこはほれ、自転車の話して相好をくずした。同じ汗をかいた仲間を感じた。これもまた、このツアーの醍醐味である。

11月7日(日)10:10「月夜の段」という訳の分からない名前の峠を目指して出発。昨日と同じような急坂を登った。途中で「あの山はなんですか?」と問う声あり。自転車を止めて振り向くと、頂上は見えないが、雲の切れ間から「八の字」の稜線が見えた。あれはまさしく富士だ。ここで、しばらく休憩を取った。そうしていると富士の頂上が見えてきた。「あたまを雲の上に出し」と謳った童謡は本当だった。もうしばらくすると、雲がすっかり晴れて素晴らしい富士が現れた。みんな一様に感嘆の声を発した。昨日佐野峠から見た富士よりもっと稜線を隠して、昨日より頂角が尖って見える。富士は稜線を見せたり、隠したりすることにより、容姿を変えるのである。それに雲の変化を加えると千変万化だ。昔、東海道、中山道、甲州街道を旅した遊子が、この富士の

百変化を楽しんだことだろう。そして、故郷に帰り富士の素晴らしさを話したことだろう。語るに余りある富士の美しさを。都内に88ヶ所ある富士塚（同伴の北川氏調べ。）の由来を見たような気がする。

12:30 お昼。富士は手前の山で遮られて見えない。下に富士川が見える。随分登ってきたものだ。25分程のお昼を終え、もう少しだ、がんばろう。25分程登った所で半欠けの富士に出会った。頂上は見えているのだが、右側の稜線はほとんど見えない。富士の頂上はもっと鋭角に尖って見えた。葛飾北斎が描く絵のように。ほとんど30度位に。

13:25「月夜の段」に到着。今日の行程の最高峰だ。「月夜の段」とはどういう由来なのだろうか。道の両側から白く長いすすきの穂が生い茂っていた。

13:40下りに出発。20分程下った所に橋が架かっていた。橋から見る溪谷の紅葉がよかった。上を見ると遠くに「月夜の段」が見えた。あの地点から下りてきたのだ。もう少し下って、奥山温泉に行った。汗を流し、さっぱり、身体を温め、ぽっかぽか。緊張から解き放され、腑抜けになったように1時間も遊んでしまった。みんな、顔を光らせ、ほっぺを赤くし、洗い髪を湿らしたまま、満足そうに出てきた。

また、自転車に乗り、近くのそば屋に寄った。気のいい地元のおばさん？おばあさん？達だけで営んでいるそば屋だった。めいめいが、そばを注文した。出てきたそばの量に驚いた。注文もしていないのに、つけもの、天ぷらなどもたくさん出てきた。食事の後、おばさん達5、6人と、しばらく雑談をした。ここでも「月夜の段」の由来を知ることが出来なかった。別れ際にやさしく声を掛けてくれた。『また、寄ってや。』

ふるさとの母のやさしさを思い出した。・・・

《TCA会員：満田 広司》

「月夜の段」

ここは、明治のころまで針葉樹が生い茂り、昼間でも月夜のように薄暗い所だったところからこう呼ばれた。

「佐野峠」

ここからの富士山の眺めは、山梨県の新富嶽百景に選ばれている所です。



【参睹】

北川 常夫
青野 順子
磯部 光博
大山 正男
新庄 良太郎
太田 大輔
(敬称略)

TCA秋のサイクリングラリー



“山の朝の空には、白い雲が小さく、流れて消える。”こんな山で歌う歌がぴったりの良く晴れた朝、橋本旅館の心のこもったサービスに満足したTCAのメンバーが、今日のコースをめざし出発、散会となる。私は、昨日遅れて到着したので行けなかった仏沢の滝へむかう。バス道路から入ると砂利道となり自転車を押すようにして登る。早くも観滝を終わった人とすれ違う。渓谷は色とりどりの紅葉に埋まり鮮やかだ。滝はまだほの暗くカメラをかまえる人が二人いた。折り返し神戸岩へ。朝飯前にここまでひと走りした人もいたのに！！、私には苦しい登りだ。しかし、眺めは抜群、トンネルをくぐり反対側からも見る。同じ場所でも天候や時期によって眺めの違うことが判る。先に登っていた松崎君とわかれて出発点へ、そのまま五日市へ今度はダウンヒル、快適に走る。こんなに長く自分もがんばって登ったんだな、吾乍ら感心した次第だ。リーダーになりたての頃、百キロランの研修で、早朝、五日市へ集合、風張峠を超え奥多摩湖へ、青梅を通り新宿を径て神宮外苑へと良く走った。懐かしく思いだされた。とにかく、今回の催しは檜原村の橋本旅館をベースにして、多くのコースから自分の力に合わせたコースを選べるので、次回の時も参加し、皆さんと友好を深めたい。

《 T C A 会 員 : 寺 井 國 雄 》

サイクリング・ディレクター移行講習会を受講して

今回行う講習は時間も費用も無駄との考えで、参加することを思いとどまっていた。関東甲信越ラリー白馬大会に参加し、サイクリングインストラクターとしての自分の勉強不足を知った。期限を過ぎていたがJCAにお願いして出席することになった。

10月24日、会場の国立オリンピック記念青少年総合センター付近に行くと、多くの若い男女が続々と私を追い越してゆく、、、何かこの人達をひきつける催しが有るのかと思った。意外にも殆どの人達が講習会場へ入るので驚きました。今回は日本キャンプ協会と合同とのことでしたが、会場は満員。残念乍らJCAのメンバーは僅か10人です。他の協会の熱意に圧当されました。

受付で内容充実のテキスト 一冊定価2940円 2冊を受け取り、別室の特別講義で移行に関する説明が有り、10時より合同講義となる。

講習はすべて、私にとってプラスの話で退屈せず充実した一日でした。特に最後の講義は自転車を組んだまま会津鉄道に乗せるサイクリングの話が披露され嬉しく聞きました。最後にレポートが配布されます。提出は設問に対し記号で解答すれば良いし、設問もテキストの頁で範囲を示してあるので丹念に勉強すれば回答はできます。60点以上とれば合格です。

私はレポート提出のためテキストを読みました。読めば読む程教えられるところが多くインストラクターの皆様にお勧めしたい気持ちになりました。しかし、忙しいなか、時間と費用をさかねばなりません。先日の理事会で奨学応援の提案を承認して頂きました。資格の有るインストラクターの皆さん！！。TCAの発展のために多くのサイクリングリーダーを作りたいです。是非講習を受けてください。奨学応援の説明はTCA事務局がいたします。始めからサイクリングディレクターになるのはなお大変です。更に多くの時間と費用が入用となります。

《 T C A 会 員 : 寺 井 國 雄 》